



「ズルパー家」
・神保あつし

茎と葉を刻みゴマやトウガラシを混ぜたしょうゆベースの調味液に漬けた。稲核菜の持つ甘味とうま味が楽しめる。

細かく刻んであるので、袋から出してそのまま食べられる。ご飯のおかずやお茶請けにぴったり。「しそ風味」「かぶ漬け」など全7種類ある稲核菜の漬物で一番人気の商品だ。

1袋(300g) 620円。問い合わせは「風穴の里」、☎0263(94)2200。

農業専用ドローン
カーのナイルワーク

生育診断まで全自動



会社概要 本社は大阪府吹田市。国内外に537店舗を展開する。年間売上高は1748億円(18年9月期)。

「日播100」は、JAGグループが培った、より前向きに取り組んでもらう。各地の水田にスローののぼり旗が掲げられた。どこで作られた米かを打ち出せる。少し踏み込んで、扱う米の一部について一復数年にわたって価格を決める取り組みと相談している。品質に加えて価格も安望している。

も力を入れていくようですね。

堅調だが、将来を見れば海外は伸びしろが埋出すれば成功するわけではない。海外の多相を食べる文化がない。徐々に浸透させて海外では限られた富裕層がすしを食べる。堅い業界が成し遂げたように、子ども連陸に訪れる分野にしたい。

の文化と親和性があるアジア市場でしっかりと台湾の店舗では、全農の協力を受け提供している。韓国では日本産米を輸入す高く、現地で調達している。しかし、日本品質の差があり、課題だ。

に可能性を見えていますね。

の効率化、情報技術の活用など、やり方次第まだビジネスチャンスが眠っている。農業ための取り組みや、海外へのチャレンジな緒となっていくのを探していきたい。

ド

農業用ドローン(小型無人飛行機)の開発と生産現場への普及が進んでいる。農水省はドローンを使った薬剤散布で、2022年の目標面積を現状の50倍の100万ヘクタールと示した。

新たなビジネスチャンスとみたベンチャー企業の参入も相次ぐ。彼らはどこに魅力を感じ、どんな未来図を描いているのか。狙いを探った。(立石寧彦)

「日播100」へ、JAGグループ

「日播100」は、JAGグループが培った、より前向きに取り組んでもらう。各地の水田にスローののぼり旗が掲げられた。どこで作られた米かを打ち出せる。少し踏み込んで、扱う米の一部について一復数年にわたって価格を決める取り組みと相談している。品質に加えて価格も安望している。

も力を入れていくようですね。

堅調だが、将来を見れば海外は伸びしろが埋出すれば成功するわけではない。海外の多相を食べる文化がない。徐々に浸透させて海外では限られた富裕層がすしを食べる。堅い業界が成し遂げたように、子ども連陸に訪れる分野にしたい。

の文化と親和性があるアジア市場でしっかりと台湾の店舗では、全農の協力を受け提供している。韓国では日本産米を輸入す高く、現地で調達している。しかし、日本品質の差があり、課題だ。

に可能性を見えていますね。

の効率化、情報技術の活用など、やり方次第まだビジネスチャンスが眠っている。農業ための取り組みや、海外へのチャレンジな緒となっていくのを探していきたい。

「日播100」は、JAGグループが培った、より前向きに取り組んでもらう。各地の水田にスローののぼり旗が掲げられた。どこで作られた米かを打ち出せる。少し踏み込んで、扱う米の一部について一復数年にわたって価格を決める取り組みと相談している。品質に加えて価格も安望している。

も力を入れていくようですね。

堅調だが、将来を見れば海外は伸びしろが埋出すれば成功するわけではない。海外の多相を食べる文化がない。徐々に浸透させて海外では限られた富裕層がすしを食べる。堅い業界が成し遂げたように、子ども連陸に訪れる分野にしたい。

の文化と親和性があるアジア市場でしっかりと台湾の店舗では、全農の協力を受け提供している。韓国では日本産米を輸入す高く、現地で調達している。しかし、日本品質の差があり、課題だ。

に可能性を見えていますね。

の効率化、情報技術の活用など、やり方次第まだビジネスチャンスが眠っている。農業ための取り組みや、海外へのチャレンジな緒となっていくのを探していきたい。

AGF



新たな時代へ 新たなシンボルとともに

私たちは1918年、天童で創業以来、「食糧生産」と「環境負荷低減」に貢献する機械メーカーとして事業に取り組んでまいりました。

これからも生命維持・環境保全に関わる企業としての誇りを持ち、これからの時代の変化に即した事業展開を進めてまいります。

私たちと関わる全てのみなさまを紡ぎ結ぶ「結の精神」を胸に一私たちは新たな時代へ歩みを進めてまいります。

株式会社 山本製作所

本社/山形県天童市 東根事業所/山形県東根市大字東根甲 5800-1
TEL.0237-43-3411 FAX.0237-43-8830 <http://www.yamamoto-ss.co.jp/>

農機事業部 営業部：TEL.0237-43-8811 FAX.0237-43-8817
営業所所在地：北海道・山形・栃木・新潟・愛知・大阪・岡山・香川・熊本

